

自動運転実証運行の取組状況について

令和7年度第2回生活交通会議

都市整備部

資料5

交通政策課

1 事業の背景

公共交通の運転手不足が深刻化し、持続可能な地域交通の確保が急務となっている中、全国各地で自動運転技術を活用した移動サービスの実証実験が行われています。

本市においても、令和3年度に鳥取市次世代モビリティ推進会議を立ち上げ、鳥取砂丘周辺エリアで自動運転バスの実証運行を実施し、令和6年2月、12月には市街地エリアで実証運行を実施するなど、自動運転技術を活用した地域交通の確保に向けた検証を行っています。

2 事業の目的

令和5年度から実施している中心市街地での実証運行の結果をふまえ、令和7年度においては、より社会実装に近い環境下での実証運行を行い、自動運転レベル4に向けた課題把握や事業継続性等について検証します。

3 事業の概要

- 実施期間 令和7年12月(予定)
- 運行ルート 右図
- 事業主体 鳥取市とティアフォー社によるコンソーシアム(共同事業体)
※ティアフォー社:自動運転システム・車両を提供
- 運行事業者 日ノ丸自動車株式会社、日本交通株式会社



<使用車両>

○車両タイプ

EVバス 1台

○最高速度

70km/h(実証時:35km/h)

○定員

23人(試乗時:13人)

◆運行計画

- ・対象路線:くるりコースを基に中心市街地内を走行するコース
- ・走行距離:ルート4.7km
- ・所要時間:約25分
※原則自動運転にて走行し、必要に応じて手動運行に切り替え

《検証項目》

- 運行ルートの変更に伴う検証
- 事業体制の変更に伴う検証
- 信号機連携を実施することで運行を支援
- 路駐回避や右折の精度向上など改善したシステム面の検証
- 試乗体験会等による社会受容性の向上

